

アジア労働市場のポテンシャルを引き出す 大容量・高速ファイル転送ソフトウェア SilverBullet

90年代以降、出版物やコンテンツ制作などに付随する業務において、安価で質のよい労働力を求め、海外へのオフショアを行うようになり久しい。特に近隣アジア諸国は日本と同じオンタイムでのやり取りが可能のため、常に高いニーズがある。ただ、そのオペレーションやクオリティの維持には特有のノウハウや知見を有することが求められる。特に大容量のファイルデータなどをやり取りする業務では如何に安全かつ確実に高速転送を実現するか、それが事業の成否のカギを握る。SilverBullet の真価はそこで発揮された。

課題

- 中国大連と日本との距離は約 1,600km だが、普及している回線帯域は数十 kbps と狭帯域
- 光回線の利用料金は月額数万円～十万円超と、現地 1 人月分程度の負担となり経済的に見合わない
- FTP や TCP ベースのファイル転送ソフトでは、DTP の切り抜きデータのダウンロードで丸 1 日を要することもあり 48 時間以内の納期遵守が困難

検討プロセス

- 同社代表取締役が知人より口コミにて SilverBullet の情報を入手し、担当者で紹介
- 担当者よりテストを実施し、従来利用の FTP や TCP ベースに比べて次の点で評価
 - ファイル転送所要時間を大幅に短縮する高速性
 - 現地スタッフもすぐ利用できる簡便な操作感

導入効果

- 転送所要時間が従来の 1/10 程度に短縮し、生産性が向上
- 納期順守に向けての障害がなくなり、大量案件の積極受注と事業拡大が可能に
- 中国大連の従業員のモチベーションも向上



■業務の平準化と高いクオリティを維持する独自のオペレーションノウハウ

顧客企業の新規事業開発にまつわるプロデュースやネットプロモーション施策、WEB サイト制作などを幅広く手掛けるフォアグローブ様。同社にはグローバル市場で活躍する大手から中・小ユーザーまで様々な企業から相談、依頼が舞い込む。委託される業務の多くはスポット色の強いものであり、さらに言えば顧客企業が内製として取り組むには面倒で煩雑な業務となる。特に代表的なものとして DTP の組版前段階におけるデザインレイアウトや赤字修正を行う紙面制作などがあり、とりわけ画像の切り抜きなどは点数が多く、かつ細やかな作業が求められる。

こうした単業務の請け負いについて、一般にはクラウドソーシングと呼ばれる主婦や在宅の個人事業主などへのネット上での依頼を主としたワークフローが思い浮かぶ。しかし、フォアグローブの執行役員・プロデューサーの緒方文平氏は意外な実情を口にする。「よく日本人は手先が細やかで、仕事も丁寧というイメージがありますが、思いのほか自己主張の強い方も多く融通が利かないケースもあります。それに個人として作業のクオリティが高くとも、その方に依存してしまうと、体調不良など急な疾患で作業が滞ったり、発注時に短納期では請け負っていただけないなどリスクがあります」

同社サービスメニューの中でも好調な画像切り抜きサービス「Shared919™」(シェアードクイック)を始めた背景には、そのような事業運営上の課題があった。同サービスは、中国・大連拠点で現地スタッフが画像切り抜き作業を行い日本国内の顧客企業に納品するオフショアサービスで、画像の切り抜きが 1 点 99 円という廉価性と、高いクオリティが魅力となる。「現地の中国人従業員は人件費も安価ですが、質的にも申し分ありません。キチンと意図を伝えて業務を組み立てて依頼すれば、むしろ日本人よりもしっかり作業してくれます。そのディレクションや管理方法こそが当社のノウハウでもあります」(緒方氏)

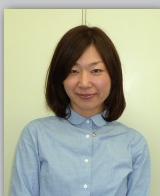
ただ、1 つだけ中国にアウトソースする上で、当社にはないノウハウが課題として立ち塞がった。それが納期遵守を妨げる回線環境である。

フォーグローブ株式会社 様

FourGlobe
The Business Design Company



フォーグローブ株式会社
執行役員・
プロデューサー
緒方文平 様



フォーグローブ株式会社
プロデューサー
荒川久子 様



フォーグローブ株式会社
ディレクター
長瀬 遊 様



フォーグローブ株式会社

本社：東京都渋谷区恵比寿南 1-11-9 恵比寿南ビル 3F

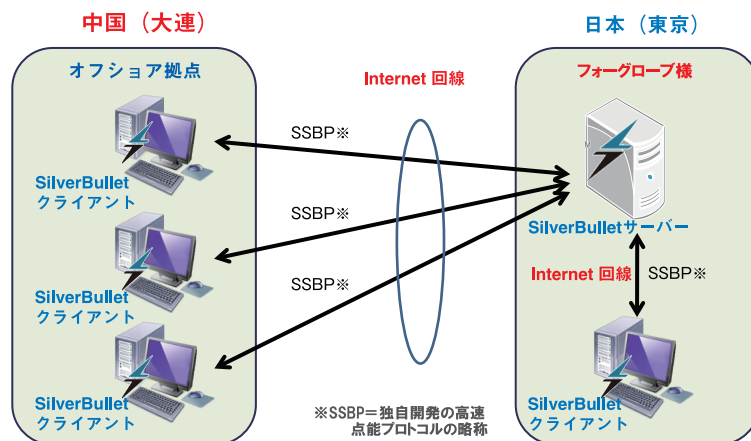
創立：2006 年 10 月 2 日

資本金：1,500 万円

従業員数：35 名

業務内容：インターネット関連企画・プランニング／WEB サイト企画・設計・構築／システム設計・構築／クリエイティブ・アウトソーシング

SilverBullet 利用構成図



■回線環境の問題が中国のオフショア価値を棄損

大連と日本との距離は 1,600km 強。時差 1 時間でありオンタイムでのやり取りが可能な、アウトソース先としては申し分ないロケーションといえる。ただ、ネットワーク事情はすこぶる悪く、普及している回線帯域は実測数十 kbps に過ぎない。もちろん、光回線の利用も可能だが、その料金は日本円で月額数万円～十万円超と、現地の 1 人月分程度の負担となりとてもコストとして見合わない。そのため、当初はやむなく FTP や TCP ベースのファイル転送ソフトを導入していたが、DTP の切り抜きデータは 1 点で数 MB、100 点なら 1GB を超えることもある。そのため 1 案件の切り抜きデータを大連でダウンロードするのに丸 1 日を要することも少なくない。当事業の運営全般を指揮する同社・プロデューサー荒川久子氏によると「顧客には 48 時間以内の納期を謳っていても、案件により遵守できない場合もあります。そのため、大きな依頼案件は敢えて受けなかったり、土日を含んでダウンロードするようスケジュールを無理に調整することも度々ありました」と、その影響が機会損出と事業拡大への支障となっていたことを述懐する。

■オフショアビジネスに欠かせないファイル転送の高速化

緒方氏が、SilverBullet について同社代表取締役畑野裕亮氏から聞いたのは、まさにこの課題に頭を抱えているさなかであった。FTP に比べて劇的に速いと畑野氏が説明するものの、実際どの程度の改善が見込めるものかには信じられない。しかし、半信半疑のなかテスト導入したところ、従来の転送所要時間の 1 / 10 程度の短縮が得られ、現場からは「やっぱり速い」という驚きとともに、導入を希望する声があがった。SilverBullet 導入後、大連のアウトソース案件の納期は全面的に改善された。個々の案件を担当する同社・ディレクター長瀬遊氏もその効果を実感している一人だ。「納期が半日どころか日付単位で前倒しになり、大量案件でも無理なく受付できるため対応サービスレベルが全般的に向上しました」（長瀬氏）。また、中国の現地従業員からは、ちょっとしたファイルでも、「SilverBullet に上げてください」と指定されるのだという。日中を跨いだオフショアサービス事業が益々拡大する中、今や欠かせない存在となっている。